

根っ子の会 ミーティング

2010.4.6 森 恭二

日時：2010.04.2（金）10：00～13：00

出席者：今井 蒲倉 熊谷 佐藤(進) 佐藤(敬) 田中 森 綿引 石堂 三嶋
児玉 高橋 三末 山内 計14名

1. イベント関係

- 1) 公園で楽しむ音楽会：3月25日（木）は雨天のため中止、
花れん・森の音の都合を確認し、5月末～6月上旬（土・日）に実施、または
10～11月に実施を計画
- 2) 緑と花のフェスティバル
4月29日開催予定で、昨年と同様に公園緑地課のテントにて展示参加
パネルは再確認、ヨシズ編みとドングリクラフトは高橋＝市川が打合せ
準備および当日の実施要領は、別途打合せにより会員に連絡する。
- 3) 公園の写真展：5月4～5日（水）10時～
写真の一般募集を町会の掲示板でお知らせ、写真の募集
ポスター準備＝根木内5枚(森)、東平賀4(熊谷)+3枚(綿貫)、城町1枚(佐藤)、
小金原1枚(佐藤)、小金1枚(今井)

2. 公園緑地課の実施、

- 1) 井戸ポンプ設置工事の実施について
3月議会において井戸ポンプ設置の予算が認められたので、今年度中の井戸掘削
及び井戸ポンプ設置が可能となった。井戸水をこの公園でどう生かすのかを協議。
相澤を通して千葉大学研究室福本氏に湧水調査を依頼。湿地の水の管理をどのよう
にしたら良いかの勉強会を開催し、話し合いを行う。
計画を立て2011年1～2月に井戸工事を実施
- 2) ミクリ池とキショウブ池の間の園路侵水について
田んぼの畦をつくったことが原因で、畦の一部を切り開きU字溝を逆さに設置し、
水の抜け道を確保した。これにより園路浸水は解決。ミクリ池の端に排水口を設置
して水量の調整が出来るように工事を行う計画。
- 3) 松戸市協働事業提案制度について
協働事業が3年目。協働推進課では4年目以降も負担金が出るような仕組みを検討中。
- 4) 木道の利用について
木道の巾を広げ、階段の改装と手摺を設置したので、特に問題なく使用されている。

3. その他事項（報告と連絡）

- 1) 協働事業の報告：3月17日（水）15時～ 市役所10階にて開催
21年度の報告書は3月26日に提出、再調整により完了
22年度の負担金申請などの手続きを実施
- 2) 田んぼづくり：稲の試験栽培
ヨシやガマの根を除去し、石やガラも除去して田植えが出来るように整備
土質改良のため、石灰の散布などを検討
給排水用ポンプを購入、田植え用長靴を購入。

- 3) 来年度の傷害保険付保
スポーツ保険：年額 600 円×24 名=14,400 円
- 4) 公園の問題点の意見交換
 - ①芝生広場のドッグランは注意が必要：
注意看板や掲示板に注意表示を行い、注意のチラシ配布などを検討
 - ②自転車の園内乗り入れは注意
- 5) 来期の役員について（提案）
運営委員会を設置して、年間の運営計画やイベント実施について立案するとよい。
作業活動終了後に会議を開催し、実施検討がよい。委員は 7 名程度。
現状は代表・会計・事務局が相談し、公園緑地課と協議を行い、活動を進めている。
現在の役員会は実質的に機能していない。
- 6) 遺跡の保存（土塁・空堀・土橋など）の検討を社会教育課（中山氏・倉田氏など）と打合せを行うとよい。
- 7) 「自然を学ぼう」は松戸教職員組合の野口さんが企画し、パンフレットを作成
- 8) 6 月 13 日（日）埼玉の老人クラブが来園の予定
- 9) 湿地パーゴラに高木さんのフジを植栽（連絡により、実施日を決定）

4. 今後の作業予定

- 1) 景観を考慮した手入れ作業など
- 2) シイの木裏の作業場に置いてある木材などを、物見台や郭の中に運んで遊んでいるので、撤去片付けを予定
- 3) タイサンボク奥の竹柵が壊されており、補修を予定
- 4) 木道右側の水に浮かぶ「アオコ」を除去
- 5) 土橋の竹林の竹が 2 本程度倒れているので、伐採処理

5. 今後の予定

定例活動： 4 月 9 日、16 日、23 日（金）9 時 30 分～

総会（東平賀城町会館）： 5 月 14 日（金）10 時～（総会）

花ごよみ： 4 月 12 日（月）10 時～ 予備日：4 月 13 日（火）

4 月 3 日（土）にスーパービバホームでポンプを購入

エンジン付ポンプ

口径 75mm 吸い込み高さ 8m 揚程高 29m 毎分排水量 0,965t 35,500 円

吸水管長 6m 排水ホース

10m×3 本=30m 取付金具、ロープ一式 26,306 円

20リッター携行缶 1 個 2,950 円

レギュラーガソリン 25L 2,884 円

合計 67,639 円

パーゴラ前水田にて試運転をした結果：

水田面積約 80 m² 水位 35 cm 体積 28 m³=28 t を入れるのに 30 分を要した。

毎分 0.93 t となりました。概ね仕様書どおり実証された。

川からの汲み上げは試行していないが、吸水管の長さは足りるようにしてある。

水田も安心して耕作できる。今度は保管庫が必要。